

かねさわ

金沢学区コミュニティ推進会

第150号

令和4年3月20日

企画・編集：広報部 発行責任者：泉 聡二
事務局：Tel(36)3985 Fax(36)2677
メールアドレス：c-kanesa@net1.jway.ne.jp
ホームページ：http://www.net1.jway.ne.jp/c-kanesa

コミュニティプランの改訂を学区の創意で実行しよう

金沢学区では令和4年度に将来のコミュニティ活動の道標となるコミュニティプランの改訂を行います。2月コミュニティ活動に関するアンケートを実施しました。この結果を分析して、時代に見合った新しいコミュニティ活動のあり方について検討していきます。学区の年齢構成は高齢化が進んでおり、今後の方向性を見出して行くべき時になっております。コミュニティ活動の基本的理念は、「住みよい町を創る」「自分の町は自らの創意と工夫により創る」ということです。これを実際にどのようにして進めていくかを検討委員会の中で議論していきます。

最近の傾向として「コミュニティ活動と自治会活動」離れも進んでいます。活動時間が取れない、活動内

容の情報不足、参加の方法が分からない、健康上の問題などが大きな理由です。こうした課題を克服するために改めて時代に即したコミュニティ活動のあり方を見出していきます。令和4年度はコミュニティプラン検討委員会を設置して議論していきます。スケジュールとしては、アンケートの分析を5月中に、検討委員会によるコミュニティプランの作成を9月末までに実施し、地域住民の皆さんへの周知を12月中とし、そして令和5年度のコミュニティ活動に反映していきます。

金沢学区のスローガン

1. お互いにかかわりあい共に活かしあおう
2. 住みよい町で快適に暮らそう
3. お互いのためにモラルを尊重しよう
4. 快適な町を共に創り上げよう
5. 安全、安心に暮らそう



金沢学区コミュニティマップ

令和3年度 金沢学区地域モビリティ実証事業が終了！ 令和4年度も継続へ

金沢学区の令和3年度「地域モビリティ実証事業」（チイモ事業）は11月1日に開始して令和4年2月末で終了となりました。学区内外の多くの皆様のご協力で一定の成果を上げることができました。本事業に賛同いただいた会員数は102名となり、乗車していただいた方は延べ500名を超える結果となりました。1日平均8名の方に利用していただき、たくさんのご意見をいただきましたので、今後のモビリティ事業に活かしていきます。令和3年度は4ヶ月の限定でしたが3月も軽自動車でも継続運行し、令和4年度は4月から年間を通して実証事業として運行します。皆様からの要望を基に、ショッピングや通院時の

利用方法や予約の簡略化を改善してまいります。また、年間運行しますので、季節別の利用調査も実施できることとなります。グリーンスローモビリティ「ハッピー号」は2月28日で一時引退しましたが、令和4年8月～11月までの4ヶ月間は運行する予定です。



デジタル勉強会を通じ情報の早期入手！！

デジタル化社会への加速に伴い、情報弱者といわれる高齢者の情報を収集する力の向上が課題となっています。このため、金沢コミュニティ推進会では令和3年度の事業として「デジタル勉強会」を開講しました。当初30名程度と想定した受講者は、46名の応募があり、午前・午後に分かれて2部制でスタートしました。

応募時のアンケートを基に、スマートフォンの初心者を対象とした講座内容を計画しました。初めてスマートフォンに触れた方、PCは使っているがスマートフォンは初心者の方など情報を収集する力の程度も様々でした。講師を日立市役所・日立税務署及び日立製作所などのご支援を得ながら、令和3年5月から令和4年1月までの6回にわたり開催できました。なかでも、現役女子高生4名の積極的な協力で、和気あいあいとした雰囲気の中で楽しく勉強できました。

「習うより慣れろ」をスローガンに、ネットへの接続・LINEアプリのインストールからスタートし、ひたちナビや地図アプリの活用、さらにはマイナン

バーカードの申請・確定申告書の作成・通信販売まで、基礎から応用まで幅広く勉強することができました。

困った時に質問できる人もいなく尻込みしていた人に勉強できる場を提供できたことは、デジタル化社会に適切に対応していくための一助になったと確信しています。今後も勉強の機会を設定していきたいです。
(DX・レクリエーション部)



さあ マスターします！



わかりやすい説明 助かります

正月玄関しめ飾りを自分でつくりました！！

12月17日(金)、金沢交流センター多目的ホールに55名の参加をいただき、「正月玄関しめ飾りづくり」を開催しました。協力部員は新型コロナウイルス感染者の減少が続くことを祈りながら、11月初旬よりわらの購入・選別・部品調達・作成予習と準備を重ねてきました。特に寒空の下でのワラの選別作業は難行苦行でした。

体験講座はスタッフそして講師の紹介から始まりました。次に飯村部長のスクリーン上で図解による分かりやすい説明でした。そして、参加者の作業開始。参加者が一番四苦八苦したのは、しめ縄作りです。右に振りながら左に巻き付ける作業です。それでも何とか華やかな縁起物を取り付けました。特に今年から大きくなった海老飾りが一段と引き立って、豪華に見えました。仕上げは末広(派手な扇)と家内安全、交通安全札の取り付けです。総仕上げはしめ縄、下がりワラのケバを切り揃え、体裁を整えることでした。一人一人が新しい年を迎える願いを込め、手作りした玄関しめ飾りは、良い年をもたらすことで

しょう。人と人との交流が限られた昨今久しぶりにたくさんの方々の笑顔が見られ、明るく楽しい地域社会の親睦を深めることができました。

(ふるさと創生塾)



縁起物の取り付け



しめ縄作り

第44回 出前寄席に泣き笑い

交流センター多目的ホールにおいて、さる2月18日(金)、公益財団法人日立市民科学文化財団主催の出張出前寄席が開かれました。出張出前寄席は毎年、市内の各地区交流センターで順番に実施されており、今年度は金沢交流センターで開催されました。コロナ禍の中ですので感染防止に注意して、アクリル板の設置、換気、体温測定などを十分に実施して開演しました。

今年の出し物は前座の古今亭松ぼっくりさんが「たらちね」を熱演、真打の初音屋左橋さんが「時そば」と「子別れ」でした。交流センターで落語が楽し

める機会はめったにありません。参加した方々は、泣いたり、笑ったりしながら、しばしの浅草寄席の雰囲気味わうことができました。コロナ禍が収束した時には多くの皆さんと一緒に出張出前寄席を楽しみたいものです。



初音屋左橋師匠の熱演

青色パトロール実施中

金沢交流センターでは 協力員による「青色防犯パトロール」を実施しています。

「青色防犯パトロール」は屋根に青色回転灯を装着し 許可を得た車で定期的に巡行する自主防犯パトロールです。不審者や不審車両、そして人気のない場所に目を光らせることで、地域の安全確保と犯罪発生防止を目的とした防犯活動です。

①パトロールの範囲は金沢学区の全域内です。金沢小学校通学区域を巡行ルートとしています。

②パトロールは毎週1回(原則 金曜日)の午後3時～4時の小学校の下校時間帯に実施しています。防犯ベスト・帽子を着用し、2人一組で巡回しています。

③パトロールのポイントは、小学校の通学路・児童公園、交流センターの管理駐車場です。不審者や不審車両の有無、公園の遊び場や周辺の異常の有無をチェックしています。地域に根ざした防犯活動として、協力員一同頑張っております。



青色パトロール出動

不法投棄回収

金沢学区の不法投棄回収は、会長・協力員4名が不法投棄監視員として活動しています。毎月第3週の月曜日午前中に、金沢学区内幹線道路及び山側道路・台原団地駐車場周辺・金沢寿橋付近をパトロールし、不法投棄物やゴミ等の回収、そして清掃センターへの連絡・通報をしています。

以前は、レンジ・テレビ・掃除機等の粗大ごみの投棄がありました。監視活動の強化により、最近では粗大ごみの投棄は減少していますが、依然として多い状況です。

「不法投棄」とは、廃棄物(ごみ)を定められたごみ集積場以外の場所に放置することをいいます。不法投棄は、単に環境や景観を損なうだけでなく、環境汚染を招きます。不法投棄は廃棄物処理法で厳しく禁止されています。不法投棄を見かけたら、「早期発見・早期撤去」のため、金沢交流センターに通報するようお願いいたします。迅速かつ適切に処理致します。

ごみ一つないより良い町づくりにご協力をお願いいたします。

(不法投棄監視員)



回収物



不法投棄状況

かねさわ 文芸

短歌

・ 閉店の駅前デパート三十年

メッセーヂ欄に「ありがとう」の文字
※一月十六日、ヨーカドー閉店。正面ホールに、ありがとう感謝の花びらカードが多数貼られてありました。

・ 空中へ飛び出して舞うスノーボード

北京五輪のマークのように
※青空へ回転しながら鳥のように飛んでいく。一瞬ではありますが、命がけの美しさを感じます。

金沢団地支部 湯佐 けい子

俳句

・ 海ふくらむ庭水仙 一気に五十本

※いつの間にか増えて庭が明るくなりました。

台原団地支部 竹田 都

・ バンダナの似合う男の桜餅

※若い男性が「ぼくが作ったんです」とニコリ笑います。

根道ヶ丘団地支部 古川 ヨシエ

・ あさぼらけ目覚も躍る春うらら

※日の出前の空です。うっすらと東の空をつつむように赤らみ素敵な光景。春の朝の心地よさが一日のはじまり。心躍ります。

根道ヶ丘団地支部 跡部 ふみえ

随筆

令和3年度 子どもの名前

令和3年度生まれの名前ランキングが発表されました(『明治安田生命』調べ)。男の子の1位は「蓮(レン)」で、2年ぶり7回目のトップです。2位からは「陽翔(ハルト)」「蒼(アオイ)」「湊(ミナト)」「樹(イツキ)」と続きます。漢字一文字の名前がベスト10の上位を占め、ベスト50でも21の名前がランクインされているとのこと。

女の子の1位は、「紬(ツムギ)」で、調査開始から初めての首位です。2位から「陽葵(ヒマリ)」「凜(リン)」「澪(ミオ)」「芽依(メイ)」と続きます。明る

く前向きで美しい女性の姿が目には浮びます。

また、大切な子どもの幸せを願う親の思いが伝わってきます。平和な時代に生を受けた子どもたち、幸せな人生を歩んでほしいです。

ちなみに、人間の名前の後でひんしゅくを買いそうですが、競争馬の名前は面白いです。馬にとっては失礼だと思う名前が多くあります。例えば「スモモモモモモ」「オレハマッテルゼ」「アシデマトイ」など。競馬中継でアナウンサーが、正しく読んでいることには感動です。
(瀬ヶ沼 きよみ)

編集後記

令和3年度は昨年に続き、新型コロナウイルスの第5、第6波にみまわれ、交流センターの使用が制限されるなど、ひたすら耐え忍ぶしかなかった年度でした。世界的にも令和4年2月の後半にはロシアがウクライナに侵攻して、時代が30年前に遡ったように感じます。今、人類の共存共栄や民主化が当たり前の時代に、あってはならないことが起こったと考える人も多いと思います。

このような中ですが、私たち金沢学区ではみんな力で合わせて、取り巻く環境の推移を見

ながら、安全で安心して暮らせる環境の確保に取り組んでいきたいものです。新型コロナ、ウクライナ侵攻ともに海外で発生したわけですが、日本からも発生することがあるかもしれません。日本は災害の多い国です。あってはならないことが発生した時に、うろたえることがないように地域住民の皆さんと知恵を出し合って対処法を事前に決めておきたいものです。令和4年度は、新型コロナが下火になり、世界の人々が自由に往来し、気楽に食事や旅行に行ける日が来る時を期待して、今を頑張りましょう。

(広報部担当副会長 高村 哲夫)